

スペンサー 基礎化学（下）（原著第5版）

第1版 第1刷, 2刷 補遺・正誤表

2021年9月1日現在

該当箇所	旧	新
p.372 例題 10・5 上から 4 行目	つぎの反応の K_c 値を計算せよ.	つぎの反応の K_c 値を計算せよ.
p.375 上から 4 行目	\rightleftharpoons	\rightarrow
p.401 下から 1 行目	$\text{Cd}(\text{OH})_{23}$	$\text{Cr}(\text{OH})_3$
p.410 下から 4 行目	\rightleftharpoons	\rightarrow
p.417 上から 5 行目	\rightleftharpoons	\rightarrow
p.418 表 11・3 タイトル	1 段目の電離を表す酸解離定数の (K_a) 例	1 段目の電離を表す酸解離定数 (K_a) の例
p.434 右下ピーカー 1 番下の式	$\Delta[\text{NH}_3] = \Delta[\text{NH}_4^+] = \Delta[\text{OH}^-]$	$-\Delta[\text{NH}_3] = \Delta[\text{NH}_4^+] = \Delta[\text{OH}^-]$
p.437 上から 12 行目と 15 行目	(NH_4Cl)	(NH_4NO_3)
p.445 上から 8 行目	0.077mol (約 4g) を水 1L に溶かせば,	0.077mol (約 4g) を 0.10M アンモニア水 1L に溶かせば,
p.459 上から 8 行目	Na_2CO_3 の 0.01M 水溶液につき,	Na_2CO_3 の 0.10M 水溶液につき,
p.459 上から 10 行目	炭酸ナトリウムは, ほぼ完全に電離する.	炭酸ナトリウムは, 塩だからほぼ完全に電離する.
p.465 上から 3 行目	$2 \text{FeO} \cdot \text{H}_2\text{O}(\text{s})$	$2 [\text{FeO} \cdot \text{H}_2\text{O}] (\text{s})$
p.465 上から 6 行目	$2 \text{Fe}_2\text{O}_3 \cdot 3 \text{H}_2\text{O}(\text{s})$	$2 [\text{Fe}_2\text{O}_3 \cdot 3 \text{H}_2\text{O}] (\text{s})$
p.467 チェック 右のようになります	$\text{FeCl}_3, \text{CH}_4, \text{O}_2, \text{MnO}_4^-, \text{HCNH}_2$ O	
p.479 表 12・1 電子授受平衡 上から 12 行目	$\text{Fe}^{2+} + 2 \text{e}^- \rightleftharpoons \text{Fe}$	$\text{Fe}^{2+} + 2 \text{e}^- \rightleftharpoons \text{Fe}$
p.485 下から 6 行目	lead strage battery	lead storage battery
p.486 上から 2 行目	$\text{Pb}(\text{s}) + \text{HSO}_4(\text{aq}) \rightleftharpoons$	$\text{Pb}(\text{s}) + \text{HSO}_4^-(\text{aq}) \rightleftharpoons$
p.494 上から 16 行目	1 mol の Al を還元するには	1 mol の Al^{3+} を還元するには
p.495 下から 8 行目 式	$10.0 \text{ A} \times 1.50 \text{ h} \times \frac{60 \text{ min}}{1 \text{ h}} \times \frac{60 \text{ min}}{1 \text{ min}} \times \frac{1 \text{ C}}{1 \text{ A} \cdot \text{s}} =$	$10.0 \text{ A} \times 1.50 \text{ h} \times \frac{60 \text{ min}}{1 \text{ h}} \times \frac{60 \text{ s}}{1 \text{ min}} \times \frac{1 \text{ C}}{1 \text{ A} \cdot \text{s}} =$
p.517 下から 1 行目	$\Delta_{\text{ac}} S^\circ = 1590 \text{ J}/(\text{mol} \cdot \text{K})$	$\Delta_{\text{ac}} S^\circ = -1590 \text{ J}/(\text{mol} \cdot \text{K})$
p.519 上から 3 行目	対称性の高い分子は振動の自由度が	対称性の高い分子は回転の自由度が
p.536 例題 13・15 の 1 行目から 2 行目	アデニン 6-リン酸イオン (ADP^+) と	アデニン 5'-三-リン酸イオン (ATP^+) と

該当箇所	旧	新
p.536 例題 13・15 の 4 行目	$G(aq) + ADP^+(aq) \rightleftharpoons$	$G(aq) + ATP^+(aq) \rightleftharpoons$
p.545 上から 11 行目	(kintetic control)	(kinetic control)
p.571 上から 10 行目	毎秒の衝突回数だと思えばよい.	毎秒の有効な衝突回数だと思えばよい.
p.571 上から 11 行目	衝突するたびに必ず反応が起きる.	有効な衝突 (p.567 参照) をするたびに必ず反応が起きる.
p.578 本文上から 2 行目	(William Conrad Roentgen)	(Wilhelm Konrad Röntgen)
p.580 本文上から 3 行目	鉛 (Pd)	鉛 (Pb)
p.583 下から 12 行目	24 時間で ^{99m}Tc の 99.4% が消える	24 時間で ^{99m}Tc の 94% が消える
p.595 上から 6 行目	(10^7 kJ/mol)	(10^4 kJ/mol)
p.600 本文下から 2 行目	114 番元素は Pu に	114 番元素 (フレロビウム, Fl) は Pu に
p.601 上から 1 行目	118 番元素ができたようだ.	118 番元素 (オガネソン, Og) ができた.
p.601 上から 3 行目と 6 行目	114 番元素	フレロビウム
p.601 上から 8 行目 式	$^{282}_{114}\text{X}$	$^{286}_{114}\text{Fl}$
p.602 図 15・10 右のようになります	<p>ランタノイド</p> <p>アクチノイド</p> <p>超アクチノイド</p>	
p.602 下から 8 行目	たとえば ^{238}U の半減期 (10^{16} 年) は地球の年齢の 200 万倍にもなる.	たとえば ^{238}U の半減期 (45 億年) は、ほぼ地球の年齢に等しい.
p.603 図 15・11 図中文字	$^{235}\text{U}^*$	$^{236}\text{U}^*$
p.612 上から 2 行目	17 世紀から	18 世紀から
p.613 ビタミン C の構造式 右のようになります	<p>ビタミン C</p>	

該当箇所	旧	新
p.616 ペンタンの構造式 右のようになります	<p style="text-align: center;">ペンタン</p>	
p.642 上から5行目	Oがない	OHがない
p.644 1番下の式 右のようになります		
p.648 本文下から2行目	なかでもつぎのクエン酸は,	なかでもつぎのクエン(枸橼=レモン)酸は,
p.648 下から1行目	<p style="text-align: center;">クエン酸</p>	
p.649 下から1行目		
p.650 上から2行目		
p.680 上から1行目	$1.13 \times 10^{-3} \text{ M}$	$1.13 \times 10^{-5} \text{ M}$
p.688 上から5行目	atomic absorption spectrometry	atomic absorption spectrometry
p.711 錯形成平衡 左段 下から7行目	$\text{Cd}(\text{NH}_3)_6^{2+}$	$\text{Cd}(\text{NH}_3)_4^{2+}$
p.712 電子授受平衡 上から11行目	$\text{Al}^{3+} + e^- \rightleftharpoons$	$\text{Al}^{3+} + 3 e^- \rightleftharpoons$
p.712 電子授受平衡 下から13行目	$\text{CO}_2 + 2 \text{H}^+ + 2 e^- \rightleftharpoons$	$\text{CO}_2 + 2 \text{H}^+ + 2 e^- \rightleftharpoons$
p.712 電子授受平衡 下から5行目	$\rightleftharpoons \text{Cu}$	$\rightleftharpoons \text{Cu}^{\ddagger}$
p.713 電子授受平衡 上から3行目	$\text{I}_2^- + 2 e^- \rightleftharpoons$	$\text{I}_2 + 2 e^- \rightleftharpoons$
p.713 電子授受平衡 上から14行目	$\rightleftharpoons \text{NO}^{\ddagger} + 2 \text{H}_2\text{O}$	$\rightleftharpoons \text{NO} + 2 \text{H}_2\text{O}$
p.713 電子授受平衡 下から8行目	$\text{MnO}_4^- + 4 \text{H}^+ + 3 e^-$	$\text{MnO}_2^- + 4 \text{H}^+ + 3 e^-$
p.722 右段 物質 バリウム 上から4行目	$\text{Ba}(\text{OH})_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}(\text{s})$	$\text{Ba}(\text{OH})_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}(\text{s})$
p.731	アボガドロ(Amadeo)	アボガドロ(Amedeo)
p.734	クエン酸回路 469	クエン酸回路 470
p.734 ケクレ	Kekulé	Kekulé

該当箇所	旧	新
p.736	セーレンセン(Sören Sörenson)	セーレンセン(Søren Sørensen)
p.737 電解	— NaCl 水溶液の 497	NaCl 水溶液の — 497
p.739	ファントホッフ(Jacobus van't Hoff)	ファントホッフ(Jacobus van't Hoff)
p.740	ブレンステッド(Johannes Brønsted)	(Johannes Brønsted)
p.742	レントゲン(William Roentgen)	(Wilhelm Konrad Röntgen)

黒字は第 2 刷増刷時，赤字は第 3 刷時に修正